資　料　5

工業標準等調査審議報告書（制定・改正）

制定・改正の別

改正

工業標準案(制定)・日本工業規格の改正案(改正)の番号及び名称

規格番号　　JIS C9335-2-209

規格名称　　家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第２－２０９部:家庭用電気治療器の個別要求事項

改正の場合、現行規格名称　家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第２－２０９部：家庭用電気治療器の個別要求事項

[団体規格を基礎とした場合は団体規格番号及び名称]

主務大臣

経済産業大臣専管

制定・改正の内容等に関する事項

・制定・改正の必要性及び期待効果

・必要性：消費者保護の面から，家庭用医療機器の規格として、一定水準をクリヤーしたものを提供することが必要である。

・期待効果：ＩＥＣの考えを取り入れた規格として改正することによって，国際貿易の円滑化を促進し産業振興に寄与することが期待できる。

・規定項目又は改正点

主な改正点は、次のとおり。

①７．１０１表示及び取扱説明：ＪＩＳＣ９３３５－１の７．によるほかに，家庭用超短波治療器の取扱説明書に含めなければならない内容について追加する。

②１３．２動作温度での漏えい電流及び耐電圧：ＪＩＳＴ０６０１－２－３の１９．１ｂ）を参考に変更する。

③２２．１０２ａ）定格出力電力：家庭用超短波治療器の構造要求として，定格出力電力を追加する。

④附属書４（規定）：家庭用超短波治療器の出力電力測定回路を明確にするため追加する。

原案作成に関する事項

原案作成機関名　　社団法人日本ホームヘルス機器工業会
特定標準化機関以外
財団法人　日本規格協会
特定標準化機関以外

・原案作成区分

法１２条による

・原案作成委員会の構成表及び開催状況
　別紙に記載のとおり

日本工業標準調査会の審議に関する事項
・部会名：標準部会（部会長：二瓶　好正）

・専門委員会：電気技術（専門委員会長：小田　哲治）

・審議経過
　WG 議決年月日　　年　　月　　日
　専門委員会議決年月日　　年　　月　　日
　部会議決年月日　　年　　月　　日

・審議中問題となった点

国際流通への影響に関する事項
・対応する国際規格及びそれらの規格との整合性
　無

・既制定の類似・関連 JIS との関係
　この規格は，ＪＩＳＣ９３３５－１：２００３（家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第１部：一般要求事項）と併読する。

・関連する強制法規
　無

・関連する公共調達基準
　無

・工業所有権等知的財産権
　無